

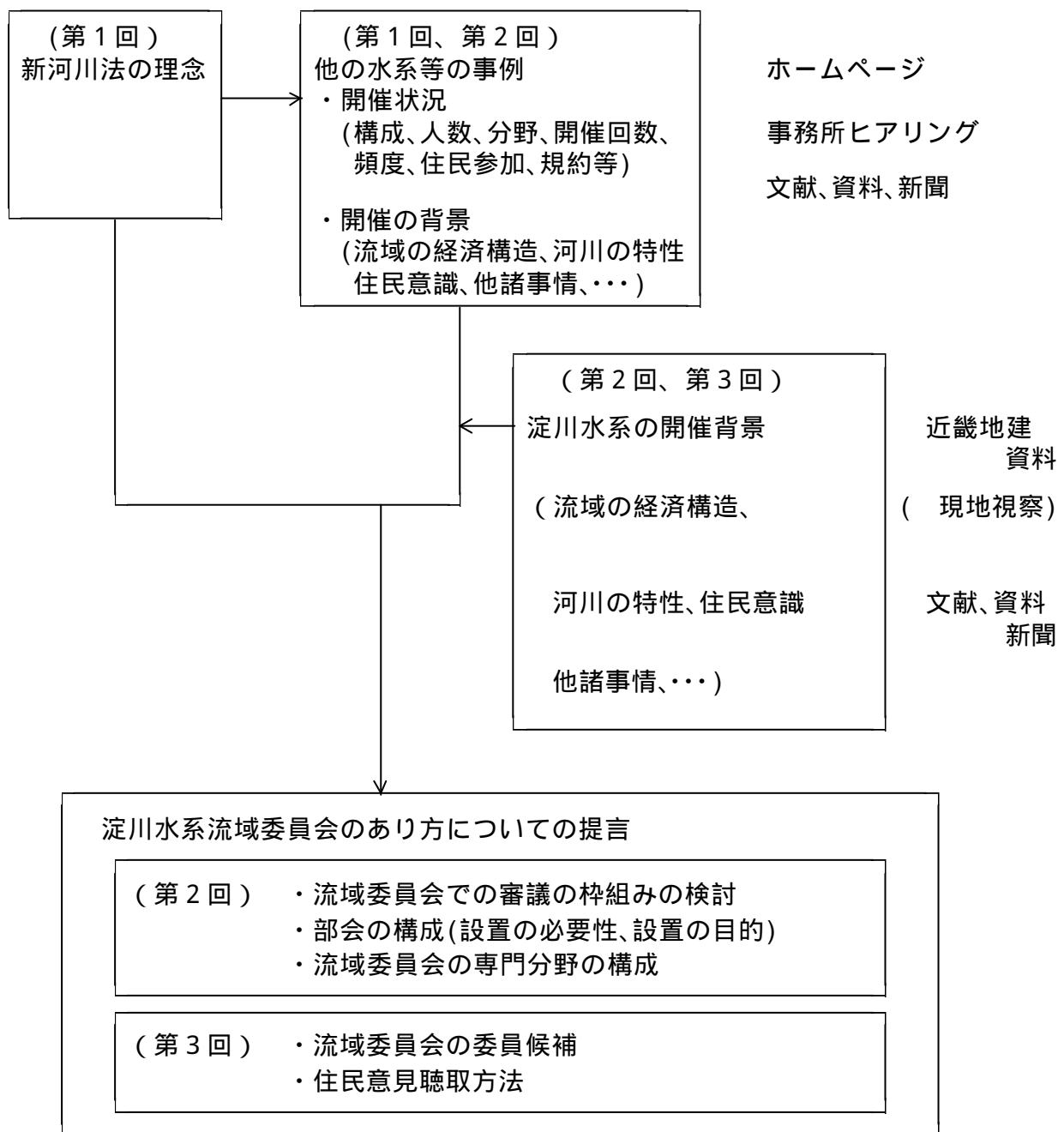
4) 今後の進め方について

他の水系等の事例を参考にしながら、淀川水系の特性等をふまえて、淀川水系にふさわしい流域委員会のあり方についての提言を行う。

なお、「流域委員会」は、河川管理者の提出する「河川整備計画」の原案に対して意見を出す場である。

会議は11月末までに3回程度の開催を想定するが必要に応じて開催回数を増やす。

図 - 今後の進め方（案）



* 部会については、支川別、上下流別、分野別などが考えられる。

今後の準備会議等の開催日程について

準備会議等開催候補日

9月4日(月)

7日(木)

13日(水) 13:00～16:00のみ

14日(木)

27日(水)

28日(木)

29日(金)

10月2日(月)

3日(火)

4日(水)

5日(木)

11日(水)

12日(木)

13日(金)

17日(火)

11月13日(月)

14日(火)

15日(水)

16日(木)

17日(金)

* 会場は原則として京都駅付近を予定しています。

< 参考 > 他の流域委員会の開催状況

1 . 開催中の流域委員会

- ・七北田川水系流域委員会（宮城県、平成11年3月～、委員数18名）
- ・最上川水系流域委員会（東北地建、平成12年3月～、委員数22名）
- ・多摩川流域委員会（関東地建、平成11年12月～、委員数26名）
- ・豊川の明日を考える流域委員会（中部地建、平成11年12月～、委員数11名）
- ・瀬戸川流域委員会（静岡県、平成12年3月～）
- ・由良川水系流域委員会（近畿地建、平成12年3月～、委員数15名）
- ・大野川流域委員会（九州地建、平成12年1月～、委員数13名）

（注：河川整備計画策定に向けて開催されている流域委員会について調査した結果であるが、全てではない）

2 . 流域委員会での審議事項例

- ・治水、利水に加え、潤いのある水辺空間の確保や環境面に配慮した河川整備計画のあり方
- ・流域の将来像（「いい川、いいまち」、・・・）の実現
- ・地域の風土・文化等に応じた川づくり
- ・治水、利水のみならず、自然環境、地域の文化、風土等を尊重した具体的河川整備計画

3 . 部会の構成

特に部会を設けている委員会はない。

なお、多摩川における第5回の流域セミナーでは、上流、中流（浅川も含む）、下流、流域の水循環、堤防及びその周辺の5つの分科会に分かれて、具体的な問題点の抽出を行っている。

4 . 流域委員会の専門分野の構成（委員の専門分野例）

河川工学、都市計画、環境科学、環境教育、水循環、生物、魚類、漁業、林学、農学、地球科学、経済、文化財、水資源

5 . 流域委員会の委員の肩書きの例

学識経験者、行政、地方公共団体の長、市民団体、関係住民代表、市民団体、N G O、報道、その他

6 . 住民意見聴取方法の例

一般向け流域セミナーの開催、地区小委員会設置、（住民アンケート）、ホームページでの意見募集、{ホームページへの資料掲載、事務所での資料閲覧}